

教育センターだより

7月



432号 令和8年 7月1日

砺波市教育センター

〒939-1398 砺波市栄町7番3号

TEL 33-1559 FAX 33-1157

E-mail tonami-ec@tonami-city.ed.jp



子供が主語の学びへ

広報となみ7月号に、砺波市の教育「子供が主語の学びへ」が特集されました。広報担当者が熱心に取材された紙面からは、子供たちの生き生きとした生の声が伝わってきます。

私もそのインタビューに同席させていただいたのですが、目の前の子供たちがしっかりと前を見据え、自分の言葉に自信をもって「これまでは発表したい人が話をして、ただ聞いていればよかったけど、今は、みんなが自分の考えを話すんだよ」「40分授業の中で、自分でタイムスケジュールを考えて学習に取り組んでいるよ」など、嬉しそうに答えてくれました。日頃の自分の学びを心から楽しんでおり、「となみ授業スタンダードV」の取組が子供たちの姿に現れていることに、深く感銘を受けました。

子供たちが主役となり、自ら考えて目を輝かせる姿は、まさに私たちが目指す教育そのものです。この子供たちの学びの歩みを支えるため、当センターとしても、学校や地域と連携しながら子供たちの主体的な成長を全力で応援してまいります。

若手教員研修会

期日：令和8年6月4日（木） 場所：砺波体育センター

○研修内容：意見交換、教育長講話

テーマ 「子供がわくわくする40分間の授業づくり」

<振り返りより>

- ・ 明日から取り組みたいことは、子供と同じ教科書を熟読すること。教科書に何が、どのような順番で書いてあるのか、そして、目的（意図）は何かを考える習慣を付けていきたい。
- ・ 学び合いの時間を充実させること、時間配分を教員が決めずに目安だけを提示することで子供たちの自己調整や自己決定の力が身に付くと思った。
- ・ 校種の違う先生方と同じ授業を考えて、子供たちの興味・関心をひく工夫や目的意識のもたせ方の工夫等、これからの実践に生かしていきたいと思える学びが多くあった。



特別支援教育研修会

期日：令和8年6月5日（金） 場所：砺波まなび交流館

○研修内容：国や県の動向、特別支援教育の事務的な手続き、
読み書き障害の児童生徒への支援、意見交換、教育長講話



<振り返りより>

- ・ 中学校入学後、そして、卒業後の進路についての話が参考になった。小学校の時から保護者に情報提供を行い、先を見据えた指導をしていく必要があると感じた。
- ・ 音声教材について、校内の先生方に情報を伝え、必要な児童生徒に活用できるようにしていきたい。
- ・ 子供一人一人の困難さに合わせた支援を考えていきたい。また、子供が悩みを話しやすい存在になれるように努めていきたい。

砺波市教育支援センター「ひよどり」運営委員会 フリースクール 情報交換会を開催しました

期日 令和8年6月8日（月） 場所 砺波市役所庄川支所

【学校との連携を大切に】

運営委員会では、庄西中学校・般若中学校の先生方より昨年度の実践事例をお話いただき、「学校とセンターのつながり」の重要性を再確認しました。今年度も「ひよどり」は、子供たちの安心できる居場所でありたいと考えています。先生方、いつでもお気軽に「ひよどり」での子供たちの様子を覗きにきてください。また、保護者の方々へも、気軽に見学や相談ができる場所としてちらし等でご紹介いただけますと幸いです。



【フリースクールとの情報交換】

後半は、フリースクールの皆様と、現在の運営状況や子供たちの活動の様子について情報交換を行いました。子供たちの多様な学び・育ちを支えるため、ぜひ一度、フリースクールへ様子を見に行っていただければと思います。そこでの気づきを、校内でも共有・ご活用いただきたく考案した次第です。